

RS ウイルス感染症予防接種について

仙 台 市

「RS ウイルス感染症予防接種」は、予防接種法で定める定期予防接種です。仙台市では、次のとおり接種事業を実施いたしますので、対象者の方はこの説明書をお読みになり、効果及び副反応について理解された上で、予防接種を行ってください。

1 RSウイルス感染症について

RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、2～8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴(ゼーゼーと呼吸しにくくなること)や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

2 RSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)について

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

3 対象者:接種時点で、妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方

4 接種回数:妊娠ごとに1回

5 接種費用:無料

6 接種場所:予防接種登録医療機関

下記問い合わせ先および市のホームページで確認できます。
「仙台市 予防接種登録医療機関」で検索してください。

7 持ち物:予診票(※1)、妊娠中のお子さんの母子健康手帳、
マイナンバーカード等(住所等が確認できるもの)、同意書(※2)

※1 予診票は、予防接種登録医療機関で配布いたします。なお、医療機関から持参を求められた場合は、下記問い合わせ先で妊娠中のお子さんの母子健康手帳(接種履歴)を確認のうえ交付いたします。

※2 被接種者が16歳未満の場合、保護者同伴が原則となりますが、13歳以上の方の場合は、保護者が同伴しない場合であっても保護者が署名した「同意書」と「予診票」を医療機関へ提出することで接種が可能です。ただし、急な体調変化を来す恐れもあるため、保護者の同伴をお勧めします。なお、同意書は市ホームページからダウンロードできるほか、下記問い合わせ先にて受け取ることができます。

【問い合わせ先】

青葉区役所 家庭健康課	TEL 022-225-7211 (代)	青葉区宮城総合支所 保健福祉課	TEL 022-392-2111(代)
宮城野区役所 家庭健康課	TEL 022-291-2111 (代)	若林区役所 家庭健康課	TEL 022-282-1111(代)
太白区役所 家庭健康課	TEL 022-247-1111 (代)	太白区秋保総合支所 保健福祉課	TEL 022-399-2111(代)
泉区役所 家庭健康課	TEL 022-372-3111 (代)	発行元 健康福祉局予防企画課	TEL 022-214-8452

(裏面もお読み下さい)

RS ウイルス感染症予防接種を受ける前に

●このワクチンの効果と副反応について

妊婦の方が妊娠中に接種することにより、出生後の乳幼児のRSウイルス感染による下気道感染症(肺炎・気管支炎等)に対する予防効果(※)が認められています。

また、主な副反応には、接種部位の症状(疼痛、腫脹、紅斑)、頭痛、筋肉痛があります。

なお、海外における一部の報告では、妊娠高血圧症候群の発症リスクが増加したという報告もありますが、結果の解釈に注意が必要であるとされています。薬事承認において用いられた臨床試験では、妊娠高血圧症候群の発症リスクの増加は認められませんでした。

※生後90日時点で8割程度、生後180日時点で7割程度の重症化予防効果が認められています。

●予防接種による健康被害救済制度について

予防接種法に基づく定期的な予防接種によるものと厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。対象となるのは、接種を受けたご本人および出生したお子さんです。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、お住まいの区保健福祉センター家庭健康課又は総合支所保健福祉課へご相談ください。

●予防接種を受けることができない場合

1. 明らかに発熱をしている方
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
3. 組換えRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
4. その他、予防接種をすることが不適当な状態と医師が判断した方

●予防接種を受ける際に注意を要する場合

1. 妊娠高血圧症候群の罹患歴がある方や、発症リスクが高いと考えられる方
2. 筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方や、抗凝固療法を実施されている方
3. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
4. 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹等のアレルギーを疑う症状があった方
5. けいれんを起こしたことがある方
6. 免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
7. 組換えRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

●接種後の注意

1. 予防接種を受けた後30分間程度は、安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
2. 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
3. 接種当日は激しい運動を避けましょう。
4. 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
5. このワクチンは、医師が特に必要と認めた場合、他のワクチンとの同時接種が可能です。ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があることから、接種間隔等については、医師とご相談ください。